

環太平洋大学 教職課程 履修カルテ【教育経営学科 通信教育課程 中学校・高等学校[保健体育]教諭】2026年度入学生

学科名: _____
 学籍番号: _____
 氏名: _____

※1 免許取得における必修科目は●、選択必修科目は◎、選択科目は○で表示

免許状の種類	基礎資格	教育職員免許法施行規則による裁定修得単位数							合計
		教育の基礎的理解に関する科目	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	教育実践に関する科目	領域及び保育内容の指導法に関する専門的科目	教科及び教科の指導法に関する科目	大学が独自に設定する科目	教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目	
中学校教諭 一種免許状(保健体育)	学士の学位を有すること	10	10	7	—	28	4	8	67
高等学校教諭 一種免許状(保健体育)		10	8	5	—	24	12	8	67
中学校教諭 二種免許状(保健体育)		6	6	7	—	12	4	8	43

環太平洋大学教職課程 履修カルテ①【中学校・高等学校[保健体育]教諭】(2026年度入学生)

学科	学籍番号	氏名
----	------	----

◆教育職員免許法施行規則第66条の6に定める科目の履修状況

施行規則に定める科目区分等	必要単位数	授業科目名	単位	中学校 一種	高等学校 一種	履修状況	修得年度	評価	評価の指標	自己評価 (最高4)	学んだこと(2点)	課題
第66条の6に定める必修科目 教育職員免許法施行規則	2	日本国憲法	2	●	●	未履修			日本国憲法の規定とその内容を理解できたか。	選択して下さい		
	2	体育理論	1	●	●	未履修			スポーツを取り入れたライフスタイルを確立する。また、そのための基礎知識を育む。	選択して下さい		
		体育実技	1	●	●	未履修			スポーツを取り入れたライフスタイルを確立する。また、そのための基礎知識を育む。	選択して下さい		
	2	英会話	2	●	●	未履修			英会話能力・英単語力を身に付けることができたか。	選択して下さい		
2	情報リテラシーⅠ(基礎)	2	●	●	未履修			WordとExcelを用いて配布物を作るスキルが身についたか。	選択して下さい			

◆教職に関する科目(一種免許状)の履修状況

施行規則に定める科目区分等	必要単位数	授業科目名	単位	中学校 一種	高等学校 一種	履修状況	修得年度	評価	評価の指標	自己評価 (最高4)	学んだこと(2点)	課題
教育の基礎的理解に関する科目	10	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	2	●	●	未履修			教育の理念・思想・意義・方法等について理解し、教師としての使命感を持つことができたか。	選択して下さい		
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	2	●	●	未履修			教育全体を見直し、教育の本質理解に迫る。教育の目的・内容・方法・制度、教育思想の変遷などについて理解を深める。	選択して下さい		
		教育に関する社会的・制度的又は経営的事項(学校と地域の連携及び学校安全への対応を含む。)	2	●	●	未履修			教職の意義、教員の役割と職務内容等について理解し、教員に求められる資質・能力を身に付けられたか。	選択して下さい		
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	2	●	●	未履修			教育と社会および歴史との関係、ならびに教員の社会的立場について理解できたか。	選択して下さい		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	○	○	未履修			教師に求められる教育心理学の基礎知識が獲得できたか。また、児童と教師を取り巻く環境の課題についての実践力を身につけられたか。	選択して下さい		
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	2	●	●	未履修			子どもの心身の発達段階に応じた、関わり方についての理論が理解できたか。	選択して下さい		
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	2	●	●	未履修			発達障害の特性の理解と学校・学級内における担任としての支援・指導の在り方について理解できたか。	選択して下さい		
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	10	道徳の理論及び指導法(※中学一種は必修)	2	●	●	未履修			道徳教育の特質とそれを踏まえた道徳教育の進め方について理解できたか。	選択して下さい		
		総合的な学習の時間の指導法	2	●	●	未履修			総合的な学習の時間の全体計画や単元指導計画を作成する上での指導法のポイントを理解し、単元開発について実践力を養うことができたか。	選択して下さい		
		特別活動の指導法	2	●	●	未履修			望ましい集団活動を行うために、特別活動をどのように展開すればよいかについて、実際の指導案を書くことによって理解することができたか。	選択して下さい		
		教育の方法及び技術(情報通信技術の活用含む)	2	●	●	未履修			実際の指導場面に求められる教育方法・技術について理解し、必要な技能を高めることができたか。	選択して下さい		
		生徒指導の理論及び方法 進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	2	●	●	未履修			生徒指導と進路指導に関する文部科学省の方向性の理解、教育現場での事象を捉え自分なりに分析することができるかどうか。	選択して下さい		
		教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)	2	●	●	未履修			教師の心構えとしてのカウンセリングマインドの内容とカウンセリングの基礎的知識について理解できたか。	選択して下さい		
		教育実習	2	●	●	未履修			教育実習の意義と目的について理解を深め、教育実習生としての心構えを養うとともに、教育実習の成果を自己評価し、教職に就く者として資質の向上を図る。	選択して下さい		
教育実践に関する科目	5	教育実習事前・事後指導(保健体育)	1	●	●	未履修			教育実習生として心構えを養うと共に、実習の成果を自己評価し、教職に就く者として資質の向上を図る。	選択して下さい		
		教育実習Ⅰ(中学校・高等学校)	2	●	●	未履修			教育実習生として心構えを養うと共に、実習の成果を自己評価し、教職に就く者として資質の向上を図る。	選択して下さい		
		教育実習Ⅱ(中学校)	2	●	○	未履修			教育実習生として心構えを養うと共に、実習の成果を自己評価し、教職に就く者として資質の向上を図る。	選択して下さい		
2	教職実践演習(中学校・高等学校)	2	●	●	未履修			教員としての適性や自己分析について理解し、これまでに培った指導技術の能力を高める。	選択して下さい			

◆「教科に関する専門的事項」、「各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)」の履修状況

施行規則に定める科目区分等			必要単位数	授業科目名	単 位	中学校 一 種	高等学 校 一 種	履修状況	修得年度	評価	評価の指標	自己評価 (最高4)	学んだこと(2点)	課題
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	体育実技	中学校一種 28単位 (高校一種 のみは24単 位)	球技(ゴール型)	1	●	●	未履修			器械運動の基礎知識と技術を習得することを目標とする。	選択して下さい		
				球技(ネット型)	1	●	●	未履修			陸上競技の基礎を学び、一定基準の記録に到達することを目標とする。	選択して下さい		
				球技(ベースボール型)	1	●	●	未履修			水泳の基礎技術を習得することを目標とする。	選択して下さい		
				器械運動	1	●	●	未履修			器械運動の基礎知識と技術を習得することを目標とする。	選択して下さい		
				陸上	1	●	●	未履修			陸上競技の基礎を学び、一定基準の記録に到達することを目標とする。	選択して下さい		
				水泳	1	●	●	未履修			水泳の基礎技術を習得することを目標とする。	選択して下さい		
				柔道	1	●	●	未履修			礼を重んじ、柔道の基礎技術の習得を目指す。	選択して下さい		
				剣道	1	●	●	未履修			剣道の基礎・基本動作や礼法が身についている。	選択して下さい		
				ダンス	1	●	●	未履修			ダンスの運動構造を学習し、身体表現のたのしさをやしなうことを目標とする。	選択して下さい		
				体づくり運動	1	●	●	未履修			体づくり運動の内容や導入の経緯を理解し、模擬授業を通して実践力を身に付ける。	選択して下さい		
	体育原理	2	●	●	未履修			スポーツを哲学的側面から深く理解することを目的とする。	選択して下さい					
	体育心理学	2	○	○	未履修			心理学的な立場から、スポーツする人間にアプローチし、その認識を深める。	選択して下さい					
	体育経営管理学	2	○	○	未履修			体育行政の任務や組織・制度など、体育行政の理論と実際について理解を深める。	選択して下さい					
	体育社会学	2	○	○	未履修			現代スポーツの文化的側面を主として社会的な視点から検討および考察し、理解を深める。	選択して下さい					
	体育史	2	○	○	未履修			体育・スポーツの歴史的意義を理解し、今日のスポーツの成り立ちの経緯を理解する。	選択して下さい					
	運動学	2	●	●	未履修			スポーツ運動学の基礎を理解し、授業実践での活用を目指す。	選択して下さい					
	生理学	2	●	●	未履修			正常な人間の機能を学び、生理機能について深く認識する。	選択して下さい					
	公衆衛生学	2	●	●	未履修			健康増進、疾病の予防について、理解を深めることを目標とする。	選択して下さい					
	学校保健	2	●	●	未履修			学校における児童・生徒の健康および安全の推進について理解を深める。	選択して下さい					
	(情報通信各教科の指導法を含む。)				保健体育科指導法Ⅰ(基礎)	2	●	●	未履修			中学校保健体育科の教科目標について、理解を深めることを目標とする。	選択して下さい	
				保健体育科指導法Ⅱ(応用)	2	●	●	未履修			体育授業計画を立案し、授業方法について理解を深めることを目標とする。	選択して下さい		
				保健体育科指導法Ⅲ(発展)	2	●	○	未履修			体育授業の構造を理解し、模擬授業を通して、具体的な方策を学ぶ。	選択して下さい		
				保健体育科指導法Ⅳ(実践)	2	●	○	未履修			実習の経験を踏まえ、効果的な授業運営について理解を深める。	選択して下さい		

◆大学が独自に設定する科目

施行規則に定める科目区分等	必要単位数	授業科目名	単位	中学校 一種	高等学校 一種	履修状況	修得年度	評価	評価の指標	自己評価 (最高4)	学んだこと(2点)		課題
大学が独自に設定する科目	中学校一種4 単位 (高校一種 のみは12単 位)	人権と教育	2	○	○	未履修			学校における人権教育のポイントについて理解できたか。	選択して下さい			
		学力と評価	2	○	○	未履修			学力を評価するための基準を理解し、信頼性、妥当性、実効性の高いテストを作成することができるか。	選択して下さい			
		道徳教育の理論及び指導法 ※高等学校一種は選択 ※この欄は高校一種のみを修得する場合、 使用すること	2	△	○	未履修			道徳教育の特質とそれを踏まえた道徳教育の進め方について理解できたか。	選択して下さい			
		介護等体験実習 ※中学校一種は必修	1	●	○	未履修			介護の現場を体験し、福祉に対する理解を深める。	選択して下さい			
		免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した「教育の基礎的理解に関する科目」											
免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した「道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談に関する科目」													
免許法施行規則に定める最低修得単位数を超えて修得した「教科及び教科の指導法に関する科目」													

環太平洋大学教職課程 履修カルテ②【中学校・高等学校[保健体育]教諭】(2026年度入学生)

学科名:

学籍番号:

氏名:

(1)必要な資質能力の指標

項目		指標	自己評価 (4年次)
学校教育についての理解	教職の意義	教職の意義や教員の役割、職務内容、子ども(生徒)に対する責務を理解していますか。	選択して下さい
	教育の理念・教育史・思想の理解	教育の理念、教育に関する歴史・思想についての基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	学校教育の社会的・制度的・経営的理解	学校教育の社会的・制度的・経営的理解に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
子ども(生徒)についての理解	心理・発達論的な子ども(生徒)理解	子ども(生徒)理解のために必要な心理・発達論的基礎知識を習得していますか。	選択して下さい
	学習集団の形成	学び集団形成に必要な基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	子ども(生徒)の状況に応じた対応	いじめ、不登校、特別支援教育などについて、個々の子ども(生徒)の特性や状況に応じた対応の方法を理解していますか。	選択して下さい

他者との協力	他者意見の受容	他者の意見やアドバイスに耳を傾け、理解や協力を得て課題に取り組むことができますか。	選択して下さい
	保護者・地域との連携協力	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解していますか。	選択して下さい
	共同授業実施	他者と共同して授業を企画・運営・展開することができますか。	選択して下さい
	他者との連携・協力	集団において、他者と協力して課題に取り組むことができますか。	選択して下さい
	役割遂行	集団において、率先して自らの役割を見つけ、与えられた役割をきちんとこなすことができますか。	選択して下さい
コミュニケーション	発達段階に対応したコミュニケーション	子ども(生徒)たちの発達段階を考慮して、適切に接することができますか。	選択して下さい
	子ども(生徒)に対する態度	気軽に子ども(生徒)と顔を合わせたり、相談に乗ったりするなど、親しみを持った態度で接することができますか。	選択して下さい
	公平・受容的態度	子ども(生徒)の声を真摯に受け止め、公平で受容的な態度で接することができますか。	選択して下さい
	社会人としての基本	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など、社会人としての基本的な事項が身についていますか。	選択して下さい

教科・教育課程に関する基礎知識・技能	保健体育科	これまで履修した保健体育科教育分野の科目の内容について理解していますか。	選択して下さい
	教科書・学習指導要領	教科書や中学校・高等学校学習指導要領(保健体育科)の内容を理解していますか。	選択して下さい
	教育課程の構成に関する基礎理論・知識	教育課程の編成に関する基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	道徳教育・特別活動	道徳教育・特別活動の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	総合的な学習の時間	「総合的な学習の時間」の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	情報機器の活用	情報教育機器の活用に係る基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい
	学習指導法	学習指導法に係る基礎理論・知識を習得していますか。	選択して下さい

教育実践	教材分析能力	教材を分析することができますか。	選択して下さい
	授業構想力	教材研究を生かした授業を構想し、子ども(生徒)の反応を想定した指導案としてまとめることができますか。	選択して下さい
	教材開発力	教科書にある題材や単元等に応じた教材・資料を開発・作成することができますか。	選択して下さい
	授業展開力	子ども(生徒)の反応を生かし、皆で協力しながら授業を展開することができますか。	選択して下さい
	表現技術	板書や発問、的確な話し方など授業を行う上での基本的な表現の技術を身に付けていますか。	選択して下さい
	学級経営力	学級経営案を作成することができますか。	選択して下さい
課題探求	課題認識と探求心	自己の課題を認識し、その解決にむけて、学び続ける姿勢を持っていますか。	選択して下さい
	教育時事問題	いじめ、不登校、特別支援教育などの学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりに意見を持つことができますか。	選択して下さい

(2)教職を目指すうえで課題と考えている事項(学生記入)